

答申書(素案) 「公立保育園の民営化に関する基本的な考え方」 全体構成

1. はじめに

- ・ 昨年市制施行 10 周年を迎えた
- ・ 第 3 次安曇野市行財政改革大綱、実施計画により行政改革を推進
- ・ 保育園が抱える課題…待機児童

2. 保育園・幼稚園の現状

- (1) 保育施設の現況…認可保育園 幼稚園 認可外保育園施設
- (2) 園児数の推移
- (3) 保育士の推移
- (4) 保育サービス内容の変遷
- (5) 保育園運営経費**

3. 課題の整理「民営化検討の背景」

- 諮問内容等から安曇野市が抱える課題を 4 点に整理
- (1) 増加する 3 歳未満児保育への対応
  - (2) 多様化する保護者ニーズへの対応
  - (3) 増加した非常勤職員への対応
  - (4) 市の財政状況「交付税減額等の影響」**

4. 保育行政への民間活力の導入の検討と方向性

- 民間活力導入にあたっての検討の観点
- (1) 保護者ニーズへの対応と民営化
  - (2) 民営化と行財政改革
    - ・ 保育士体制 (ひと) ・ 保育園の規模 (もの) ・ 財政の健全化 (かね)
  - (3) 民営化の手法

**5. 民営化に関する基本的な方向性・・・本委員会としての一定の結論**

6. 民営化を検討するにあたって留意すべき事項

- 現行サービスを充実しつつ足りないところに民間活力を導入
- (1) 中長期ビジョンの策定
  - (2) 急激な変化は影響が大きい
  - (3) 長期に渡って民間経営を可能にするための考慮
  - (4) 保育所の制度改革に向けた取組み

7. おわりに・・・会長執筆

